第７次江別市総合戦略
まちづくり政策・えべつ未来戦略指標
まちづくり市民アンケート調査結果概要

令和７年５月実施

江別市　企画政策部　政策推進課

目　　次

Ⅰ まちづくり政策指標 2

政策１：自然・環境 2
政策２：産業 4
政策３：福祉・保健・医療 5
政策４：安全・安心 7
政策５：都市生活 9
政策６：子育て・教育 11
政策７：生涯学習・文化・スポーツ 13
政策８：協働・共生 15
政策９：計画推進 18

Ⅱ えべつ未来戦略指標 20

戦略１：子どもが主役のまちをつくる 20
戦略２：幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける 21
戦略３：みんなの働きがいと、元気な経済をつくる 24
戦略４：地域から地球温暖化防止に挑む 25
戦略５：デジタル技術で住みよい明日（あす）を切りひらく 27

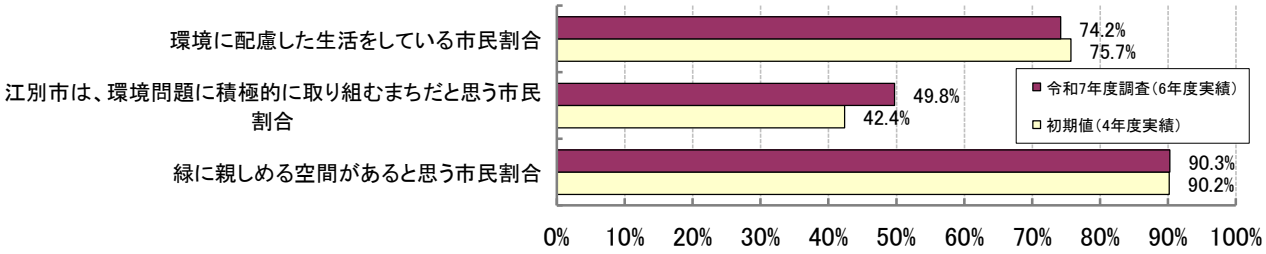
〇留意点

・図表における構成比は、原則、小数点第２位以下を四捨五入して表示しています。
・図表中のＮは指標計算時の分母となります。指標計算式の関係上、一部表示していない図表があります。また、年齢別を一部省略している場合があります。

Ⅰ　まちづくり政策指標

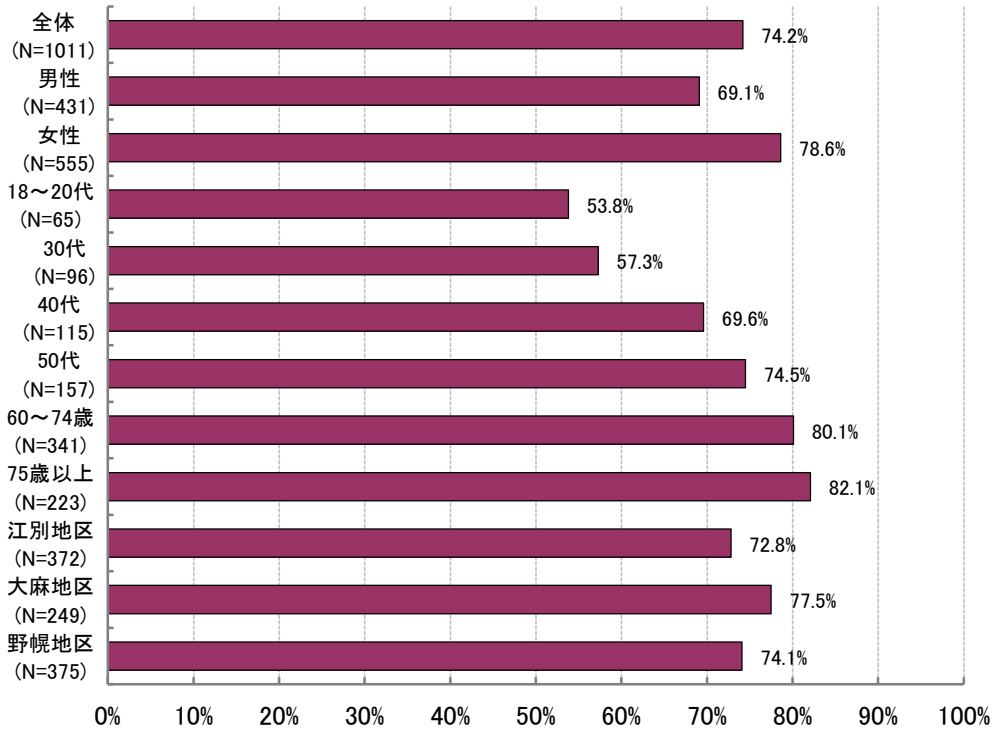
政策１：自然・環境

図表Ⅰ－１－① 各指標

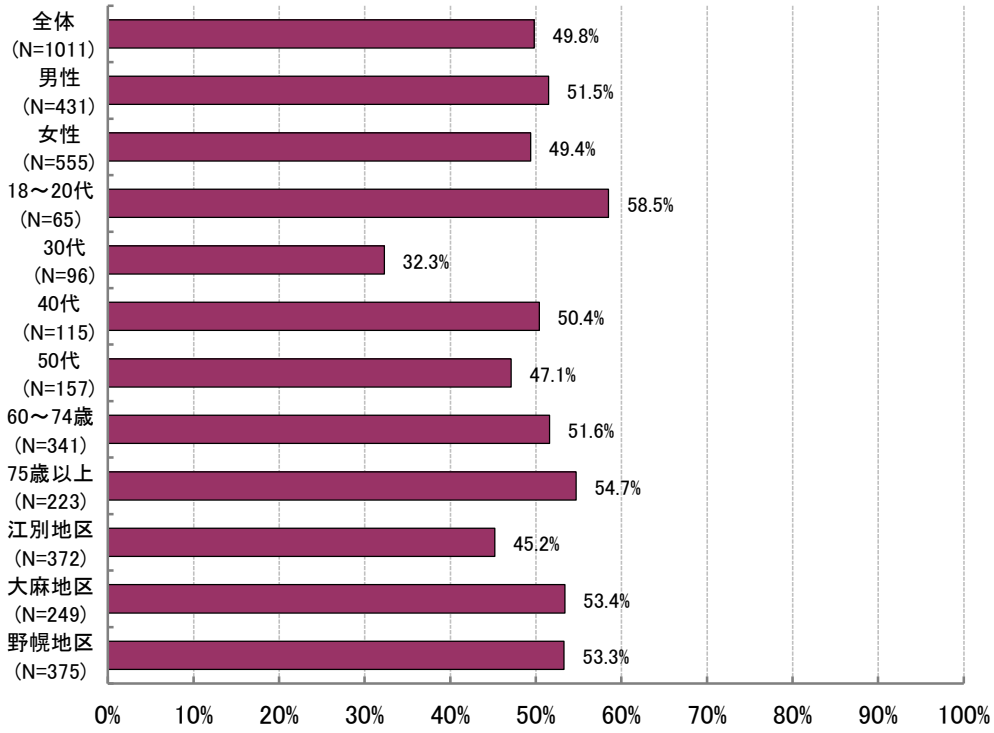


○性別で見ると、「女性」の方が「男性」よりも環境に配慮した生活をしている市民割合が高くなっています。
○年代別に見ると、「30 代」は、江別市が環境問題に積極的に取り組んでいると思う市民割合が最も低くなっています。
○緑に親しめる空間があると思う市民割合は、「75 歳以上」が全ての項目の中で最も低くなっています。

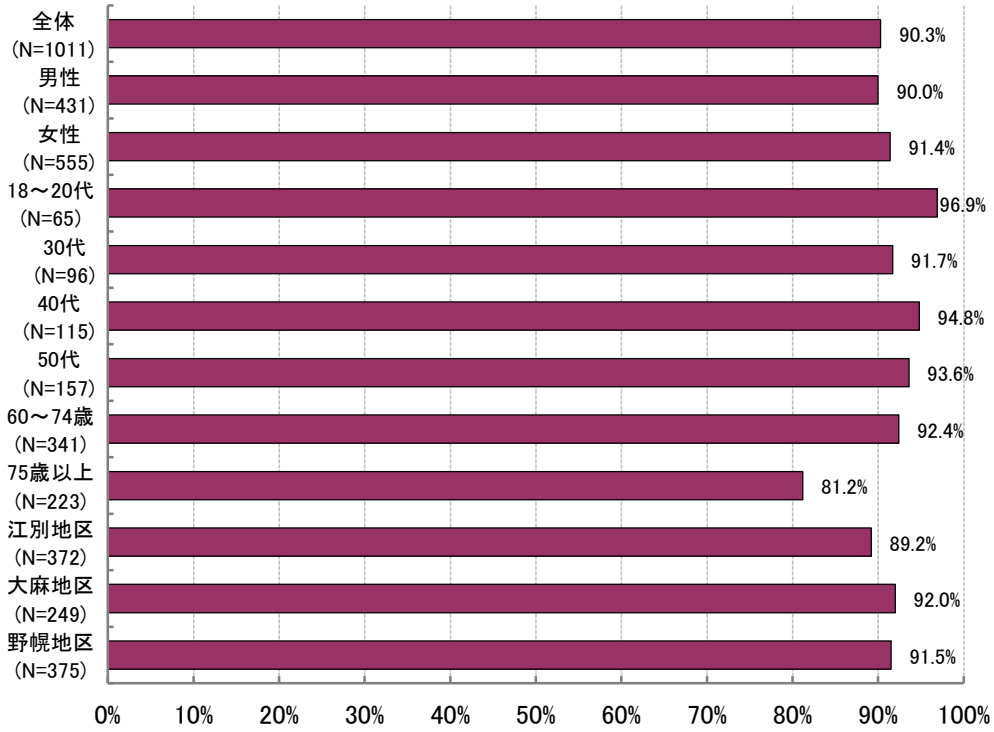
図表Ⅰ－１－② 環境に配慮した生活をしている市民割合



図表Ⅰ－１－③ 江別市は、環境問題に積極的に取り組むまちだと思う市民割合

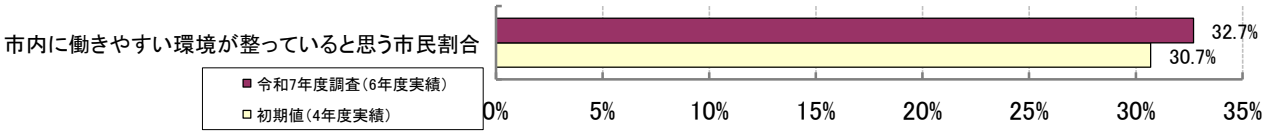


図表Ⅰ－１－④ 緑に親しめる空間があると思う市民割合



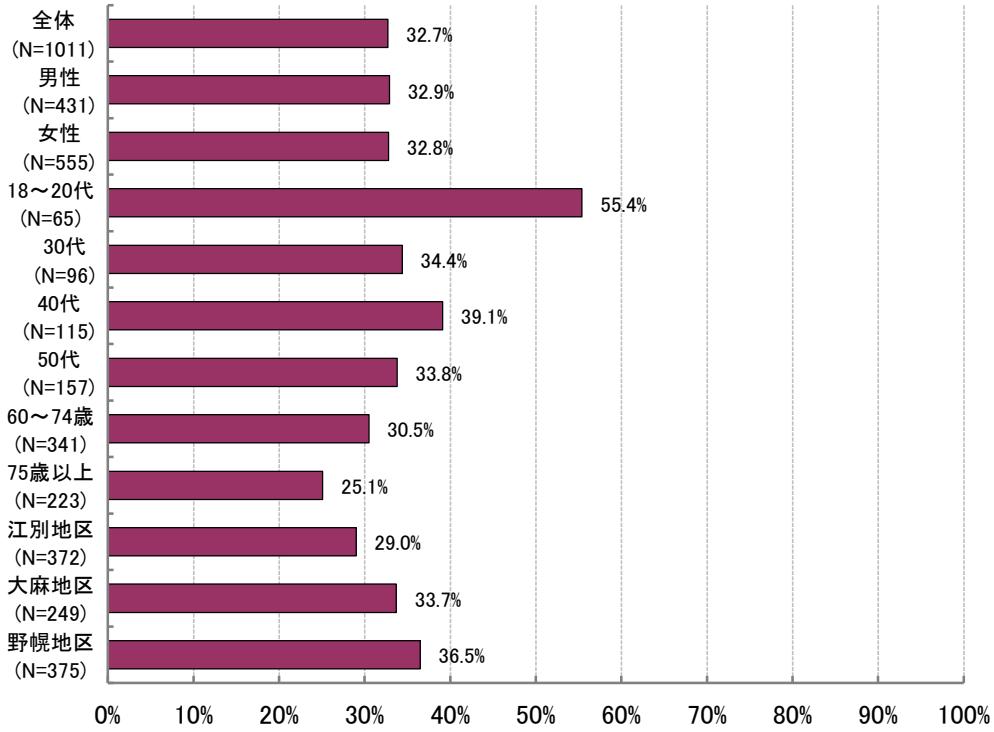
政策２：産業

図表Ｉ－２－① 各指標



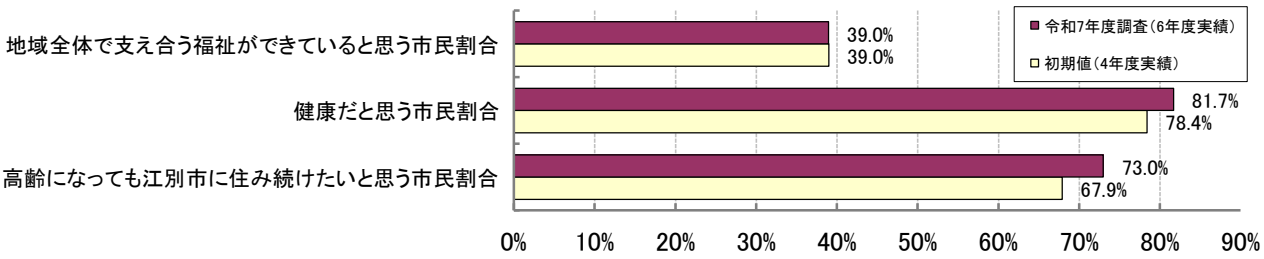
○年代別に見ると、「18～20 代」は、市内に働きやすい環境が整っていると思う市民割合が、他の年代と比べて最も高くなっています。
○地区別に見ると、「江別地区」は、他の地区よりも市内に働きやすい環境が整っていると思う市民割合が低くなっています。

図表Ｉ－２－② 市内に働きやすい環境が整っていると思う市民割合



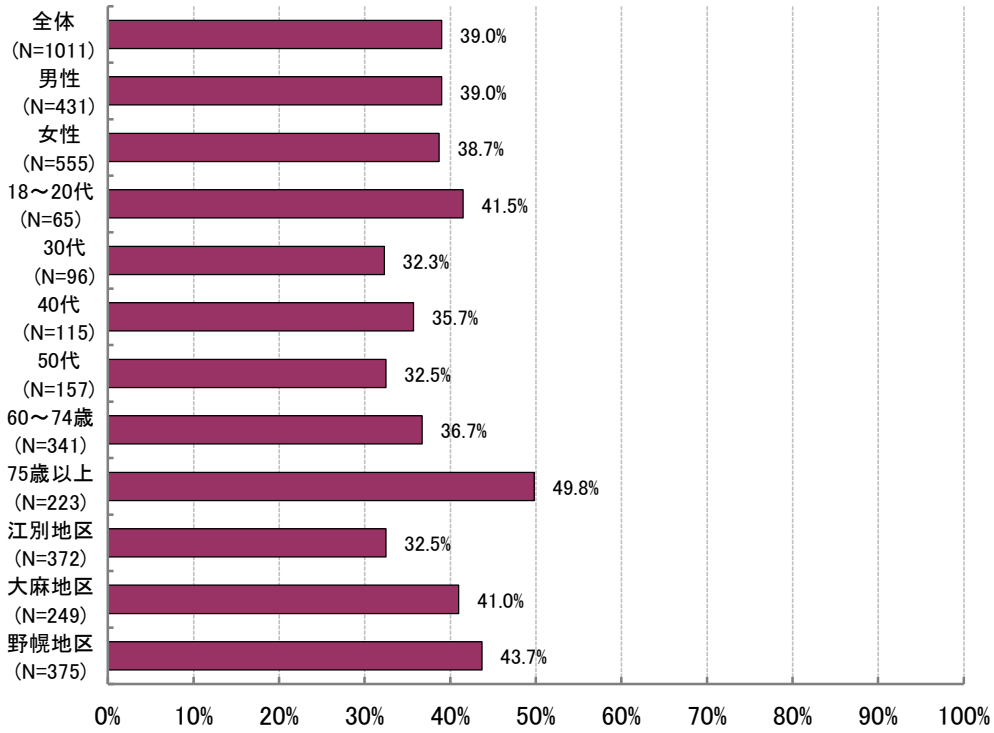
政策３：福祉・保健・医療

図表Ⅰ－３－① 各指標

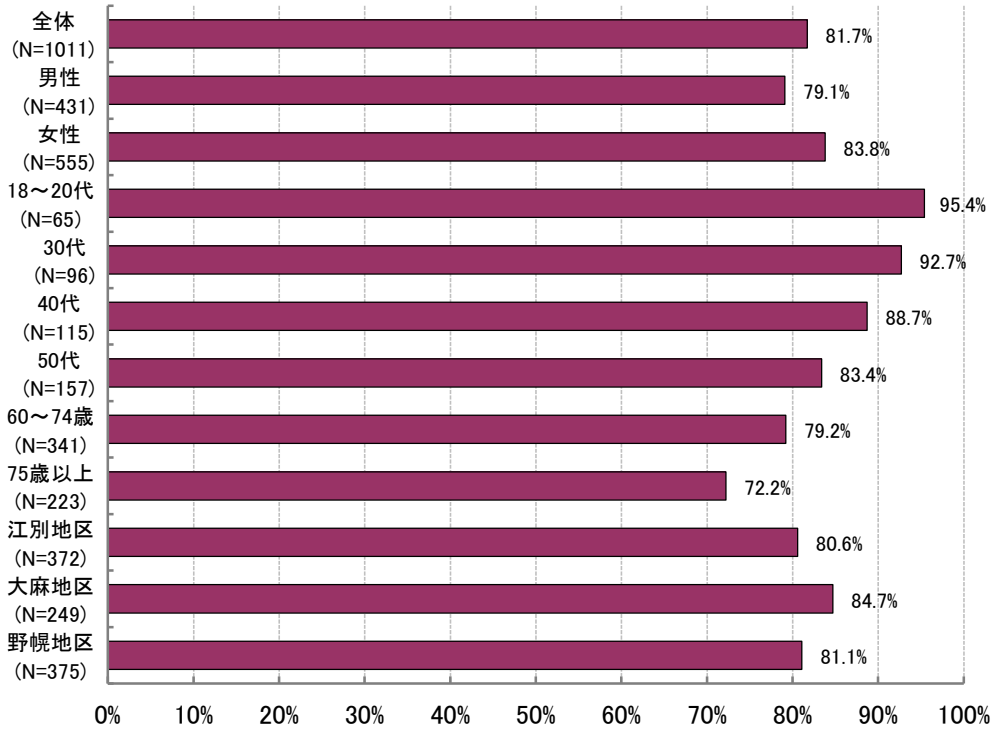


○年代別に見ると、「75 歳以上」は、地域全体で支え合う福祉ができていると思う市民割合が、他の年代と比べて高くなっています。
○性別で見ると、「女性」の方が、「男性」よりも健康だと思う割合が高くなっています。
○地区別に見ると、「江別地区」は、他の地区と比べて高齢になっても江別市に住み続けたいと思う市民割合が低くなっています。

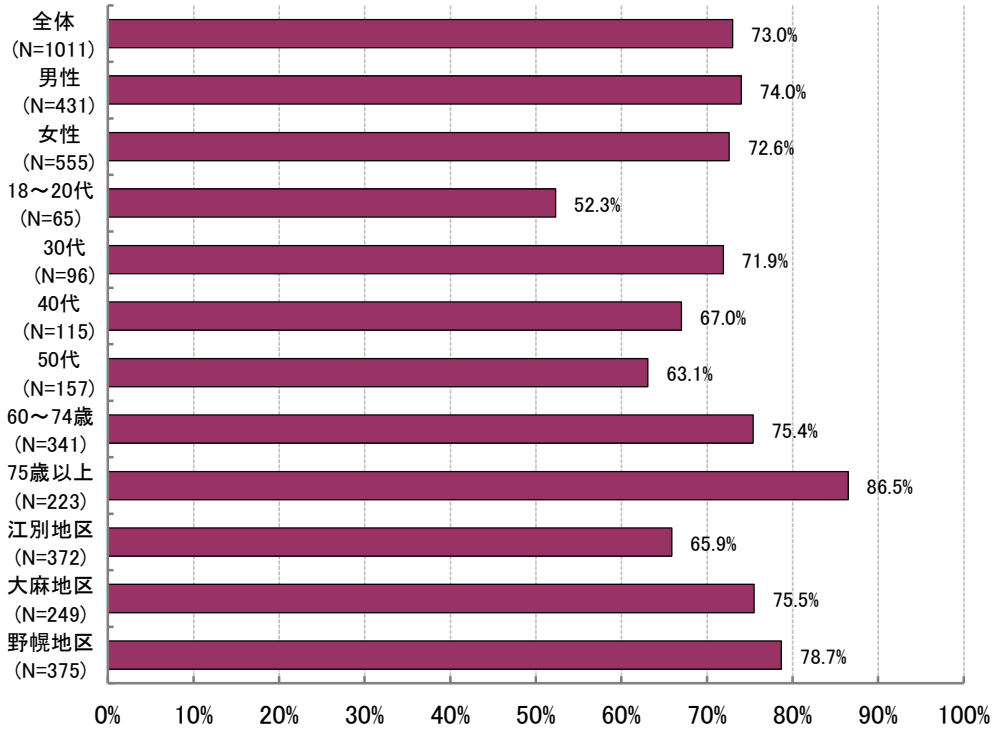
図表Ⅰ－３－② 地域全体で支え合う福祉ができていると思う市民割合



図表Ⅰ－３－③ 健康だと思う市民割合

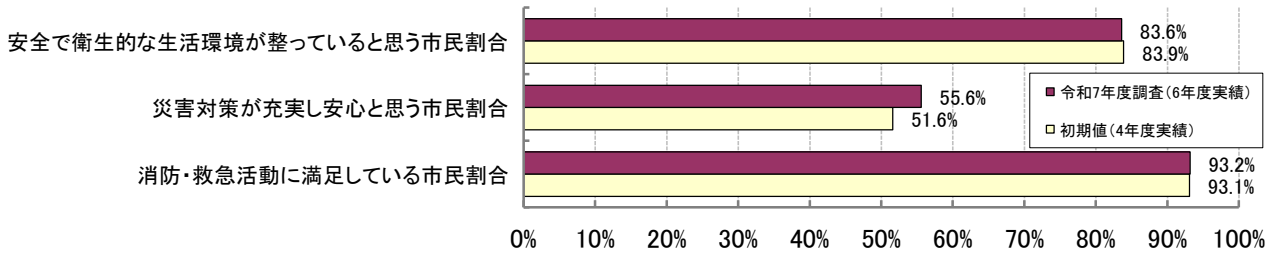


図表Ⅰ－３－④ 高齢になっても江別市に住み続けたいと思う市民割合



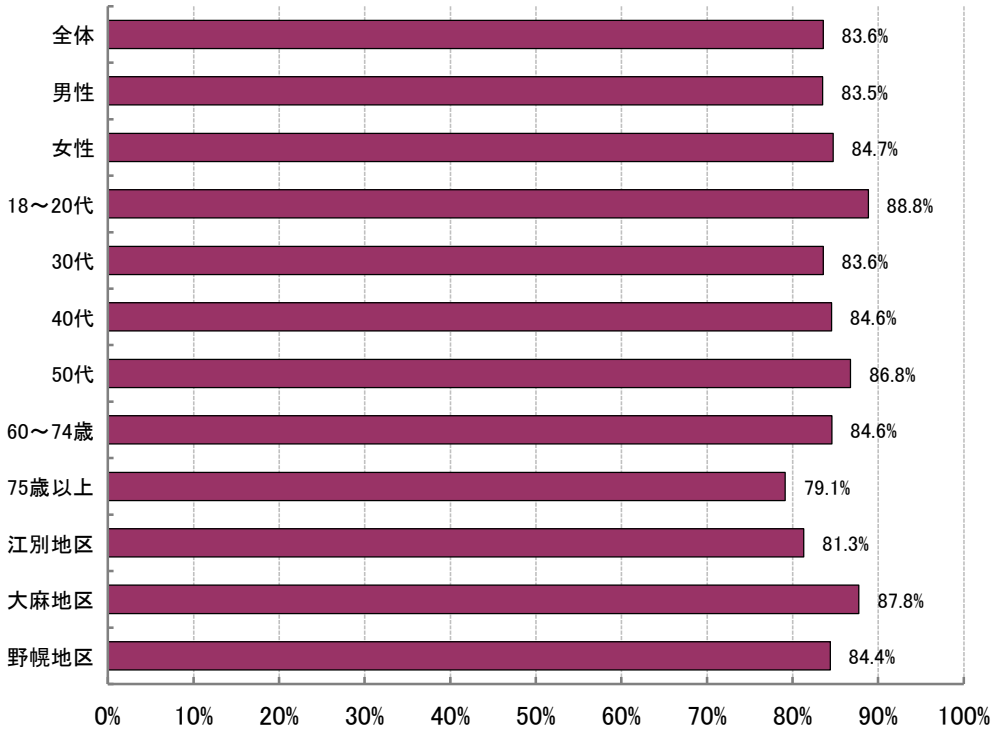
政策４：安全・安心

図表Ⅰ－４－① 各指標

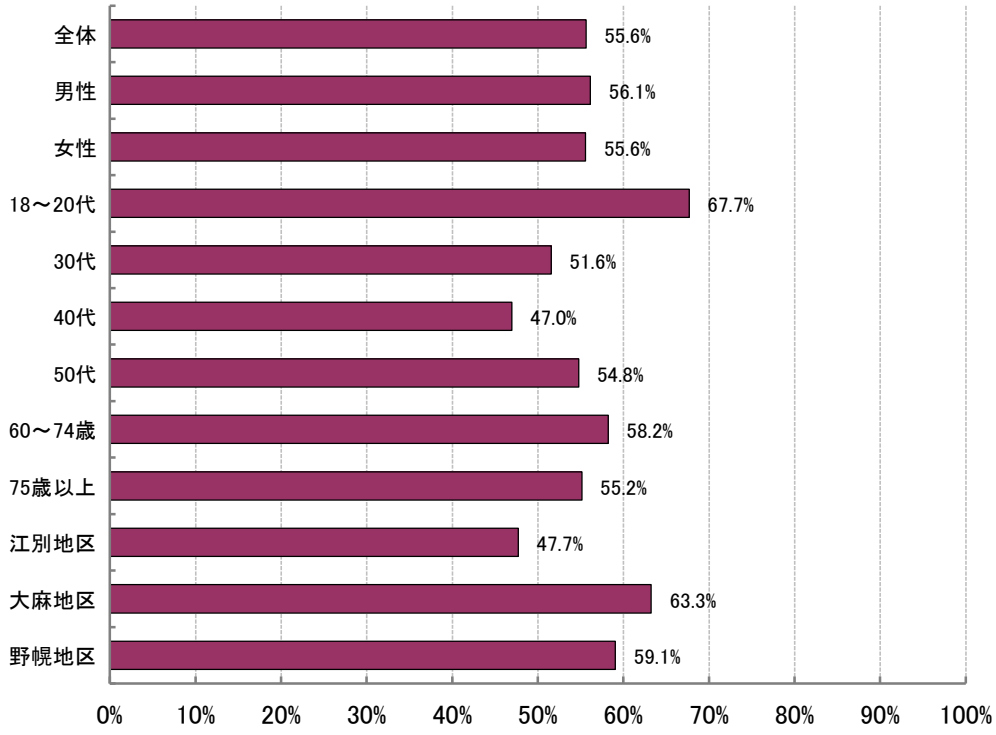


○年代別に見ると、「18～20 代」は、安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合が、最も高くなっています。
○地区別に見ると、「江別地区」は、災害対策が充実していると感じる市民割合が、他の地区よりも低くなっています。
○年代別に見ると、「75 歳以上」は、消防・救急活動に満足している市民割合が低くなっています。

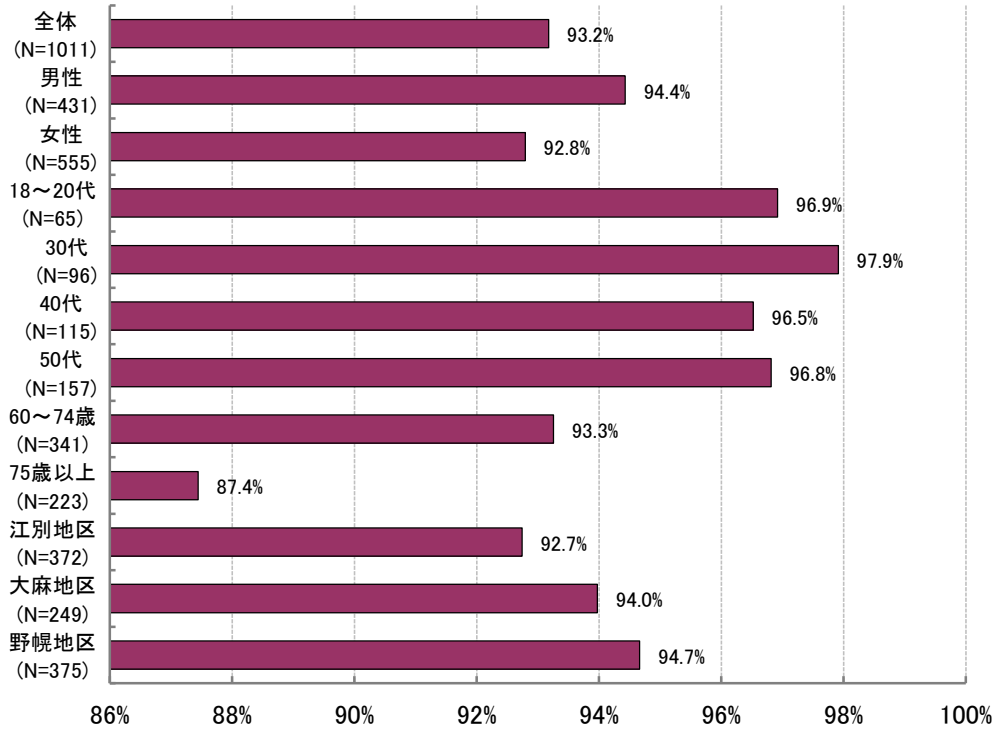
図表Ⅰ－４－② 安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合



図表Ⅰ－４－③ 災害対策が充実し安心と思う市民割合

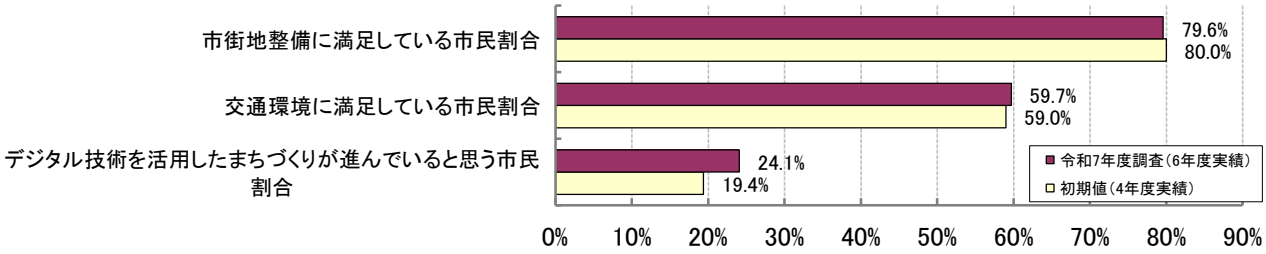


図表Ⅰ－４－④ 消防・救急活動に満足している市民割合



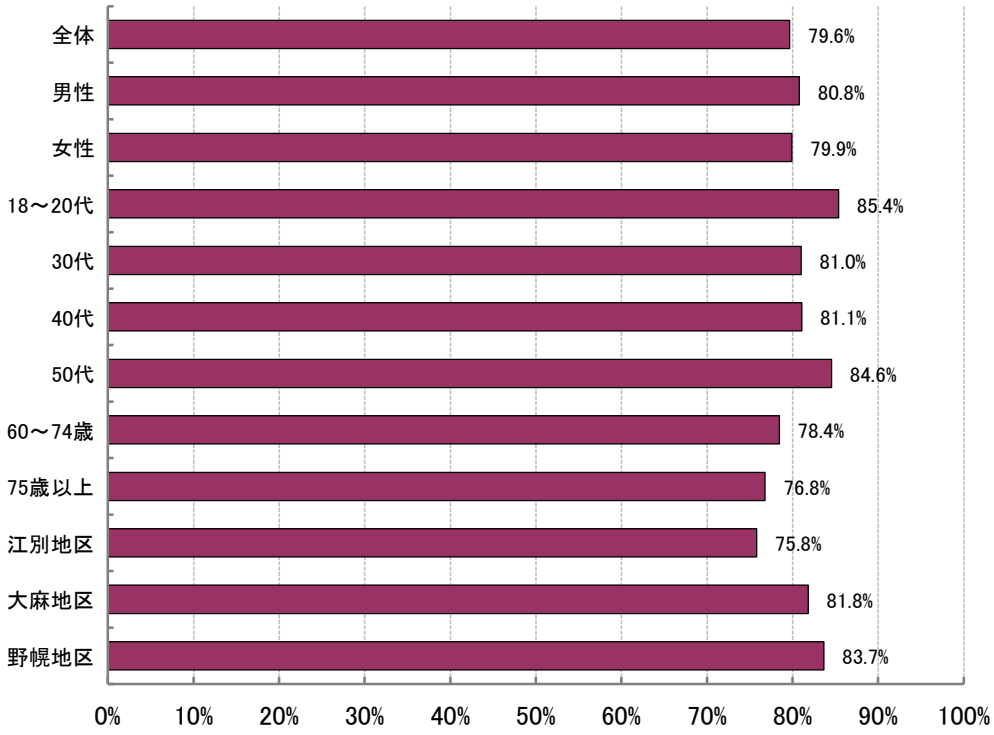
政策５：都市生活

図表Ⅰ－５－① 各指標

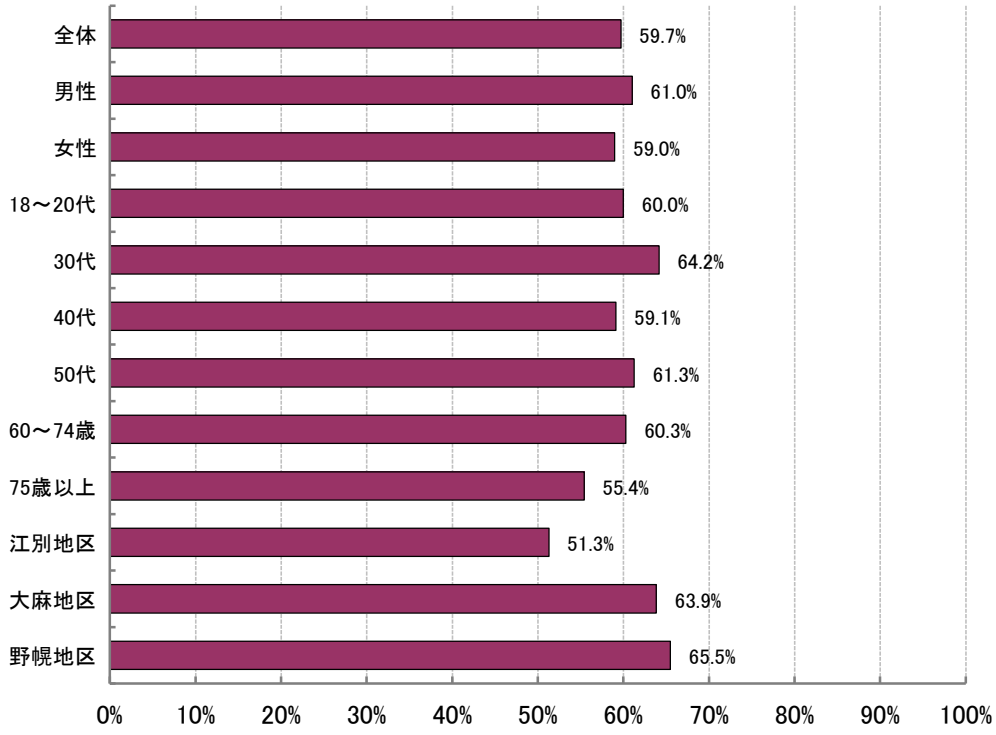


○地区別に見ると、「野幌地区」は、市街地整備に満足している市民割合が、他の地区よりも高くなっています。
○年代別に見ると、「30 代」は、交通環境に満足している市民割合が最も高くなっています。
○デジタル技術を活用したまちづくりが進んでいると思う市民割合は、「30 代」が他の年代よりも最も低くなっています。

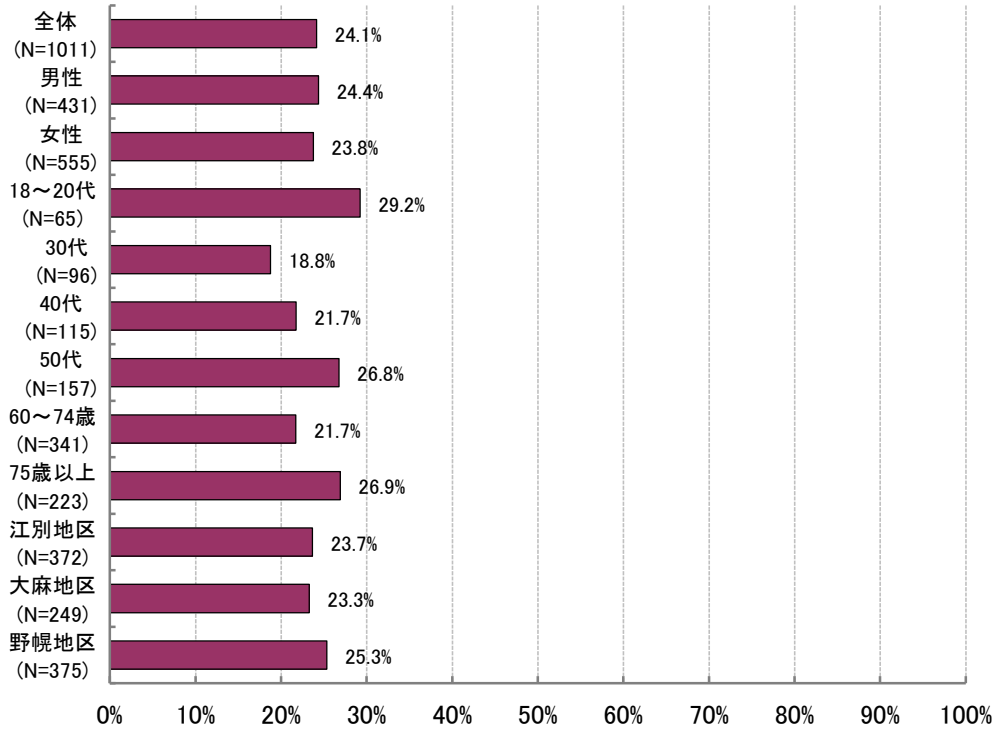
図表Ⅰ－５－② 市街地整備に満足している市民割合（都市機能、公園、上下水道）



図表Ⅰ－５－③ 交通環境に満足している市民割合（道路環境、除排雪事業、公共交通）

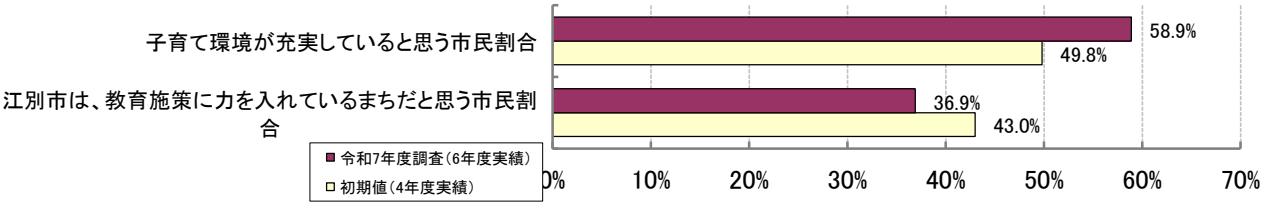


図表Ⅰ－５－④ デジタル技術を活用したまちづくりが進んでいると思う市民割合



政策６：子育て・教育

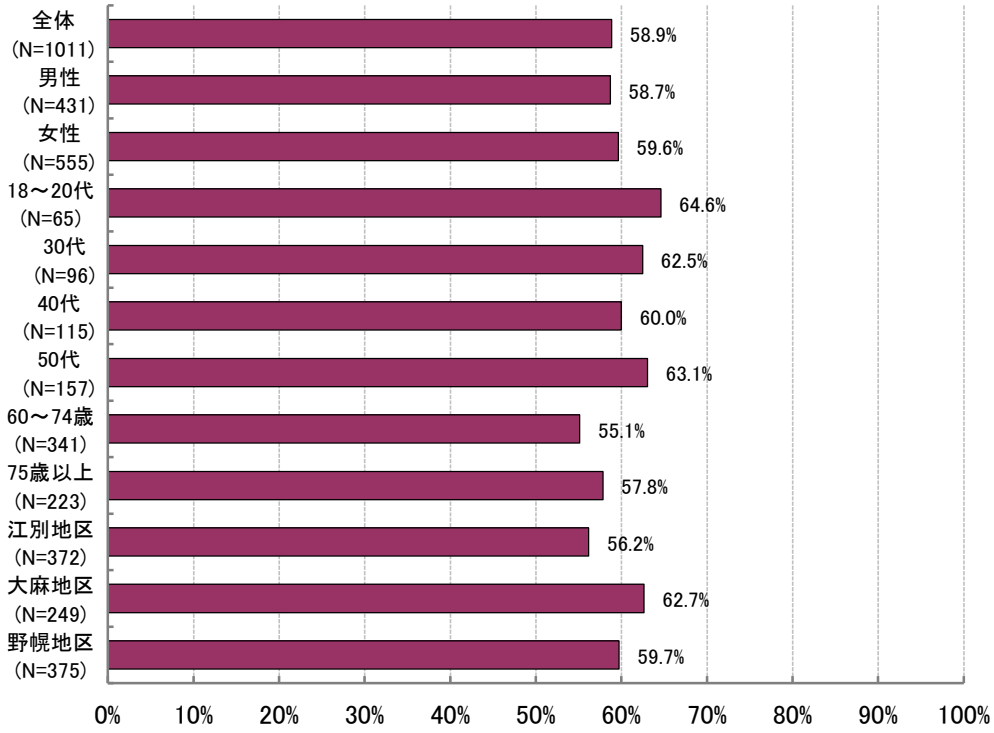
図表Ⅰ－６－① 各指標



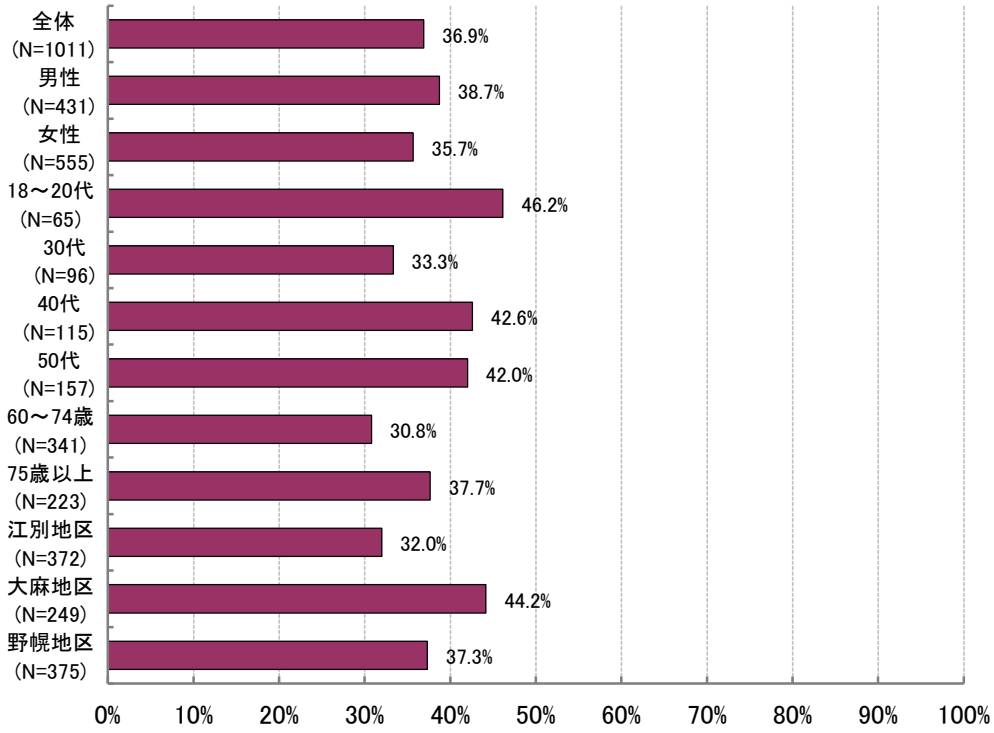
○年代別に見ると、「18～20 代」は、子育て環境が充実していると思う市民割合が、最も高くなっています。

○地区別に見ると、「大麻地区」は、教育施策に力を入れていると思う市民割合が、他の地区よりも高くなっています。

図表Ⅰ－６－② 子育て環境が充実していると思う市民割合

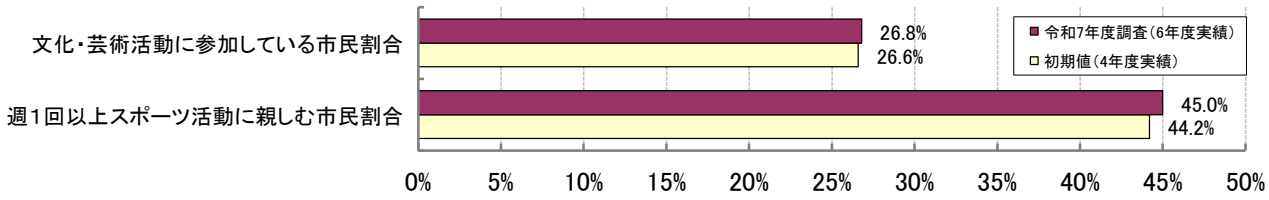


図表Ｉ－６－③ 江別市は、教育施策に力を入れているまちだと思う市民割合



政策７：生涯学習・文化・スポーツ

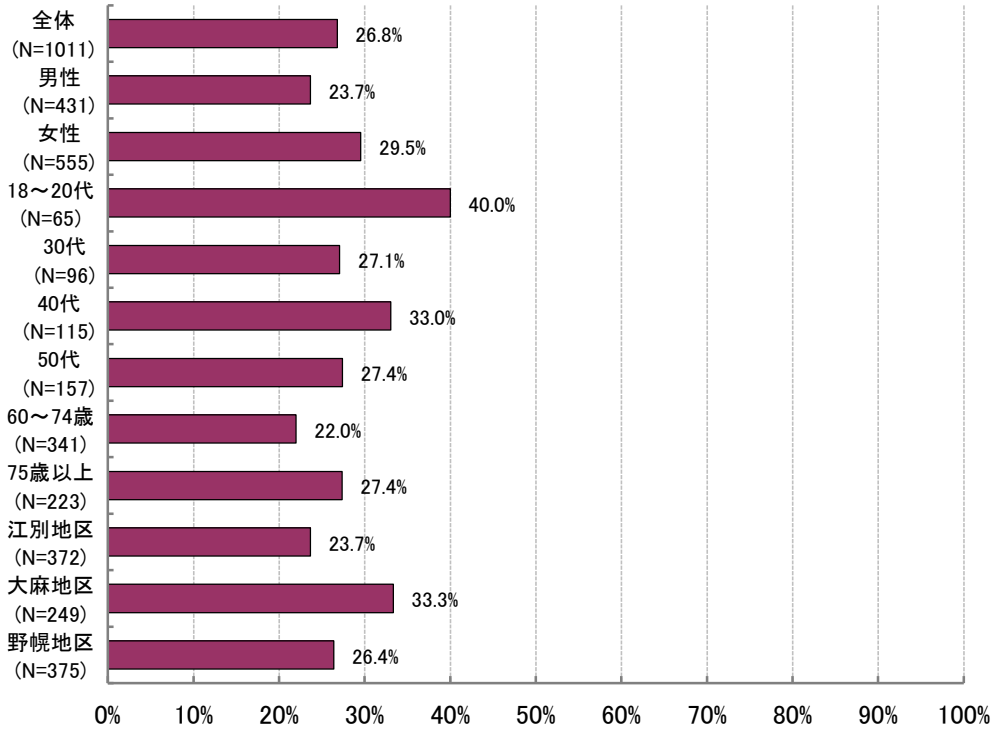
図表Ⅰ－７－① 各指標



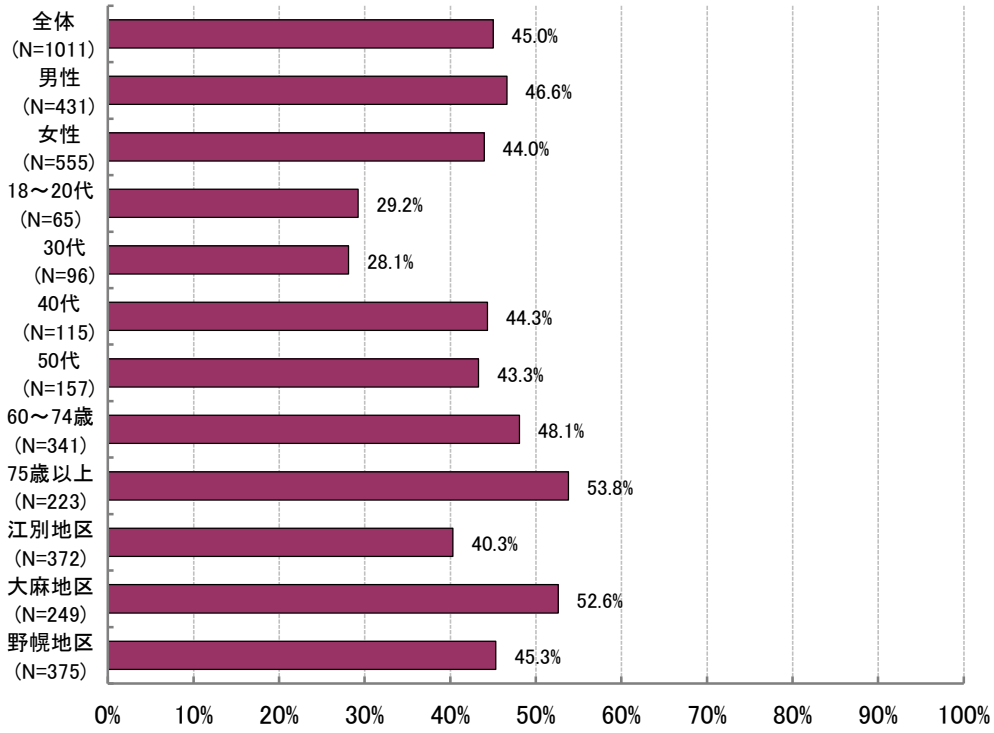
○性別で見ると、「女性」の方が、「男性」よりも文化・芸術活動に参加している市民割合が高くなっています。

○年代別に見ると、「75 歳以上」は、週 1 回以上スポーツ活動に親しんでいる市民割合が最も高くなっています。

図表Ⅰ－７－② 文化・芸術活動に参加している市民割合

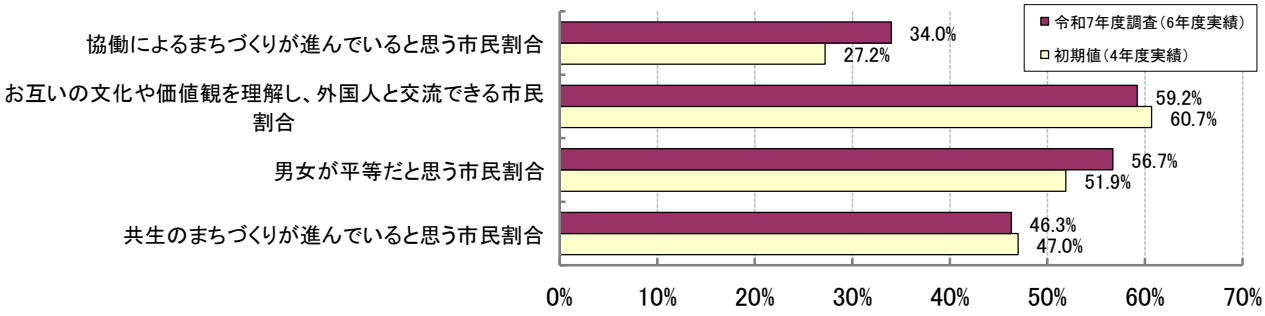


図表Ⅰ－７－③ 週１回以上スポーツ活動に親しむ市民割合



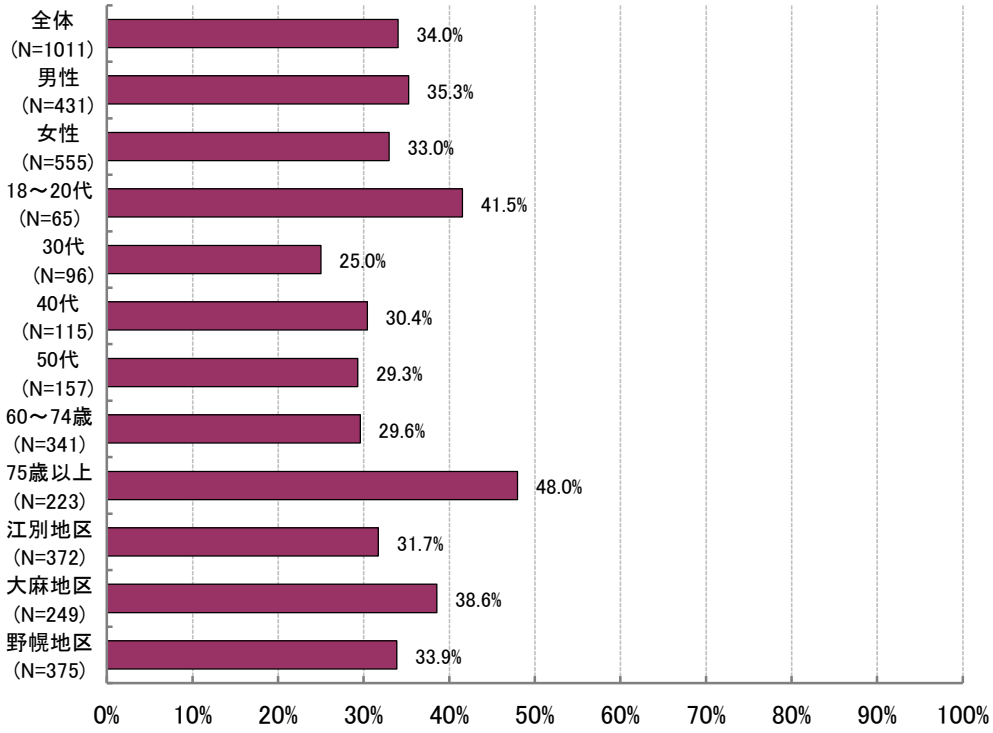
政策８：協働・共生

図表Ⅰ－８－① 各指標

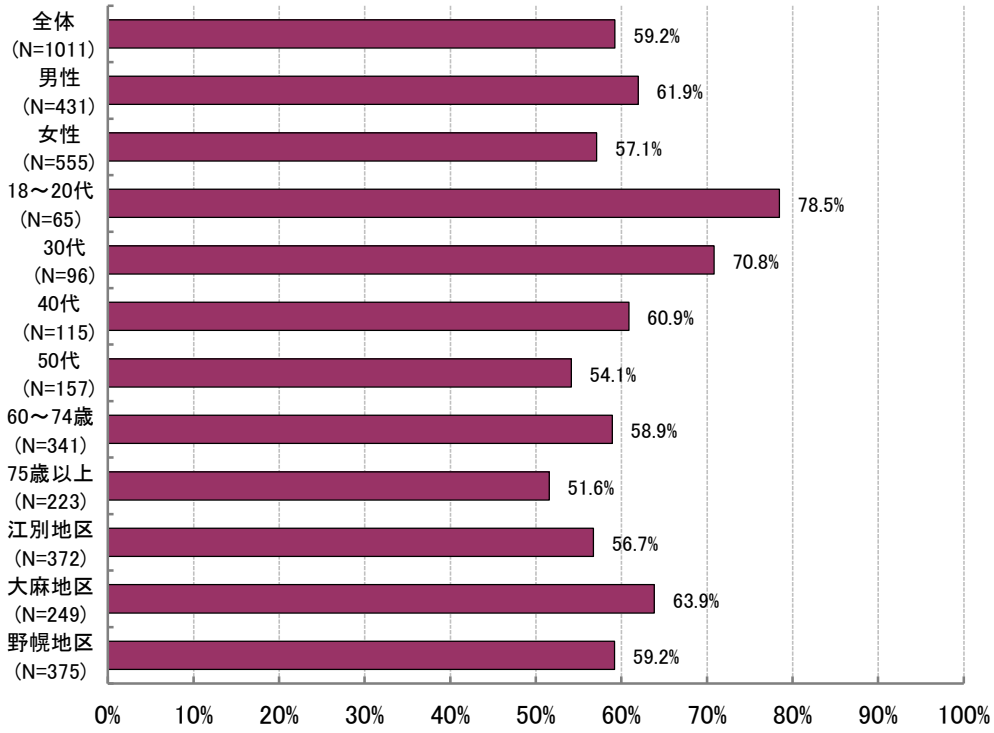


○年代別に見ると、「75 歳以上」は、協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合が、最も高くなっています。
○お互いの文化や価値観を理解し外国人と交流できると感じている割合は、「18～20 代」が最も高くなっています。
○男女が平等だと思う市民割合は、「男性」の方が「女性」よりもが高くなり、年代が下がるにつれて高くなる傾向があります。
○地区別に見ると、「江別地区」は、他の地区よりも共生のまちづくりが進んでいると思う市民割合が低くなっています。

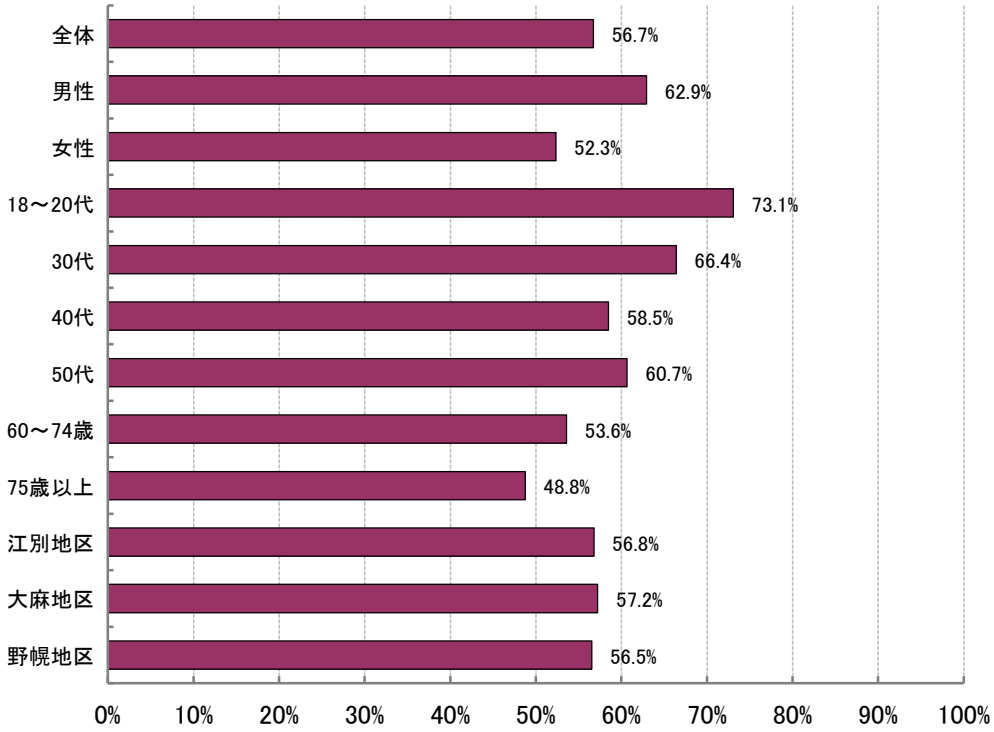
図表Ⅰ－８－② 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合



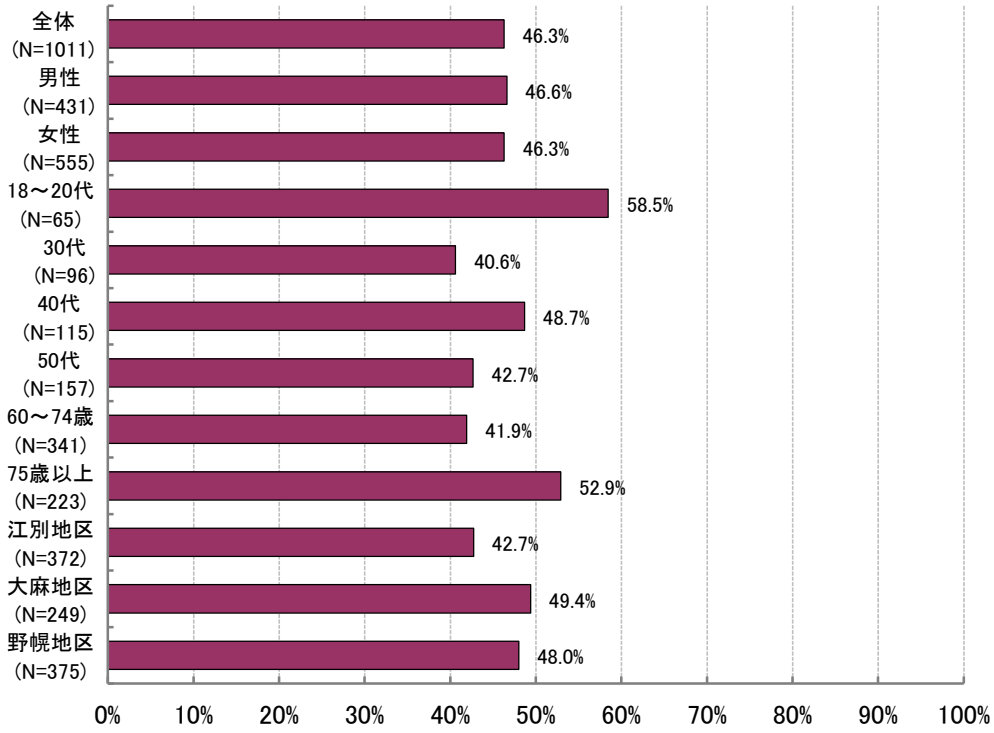
図表Ｉ－８－③ お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合



図表Ｉ－８－④ 男女が平等だと思う市民割合

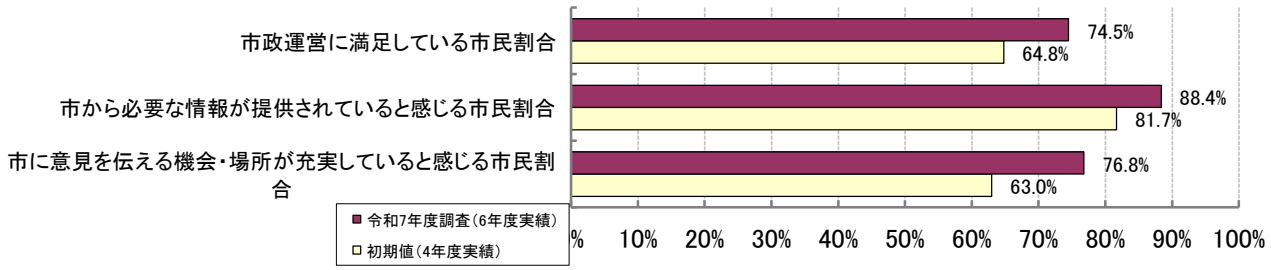


図表Ｉ－８－⑤ 共生のまちづくりが進んでいると思う市民割合



政策９：計画推進

図表Ⅰ－９－① 各指標

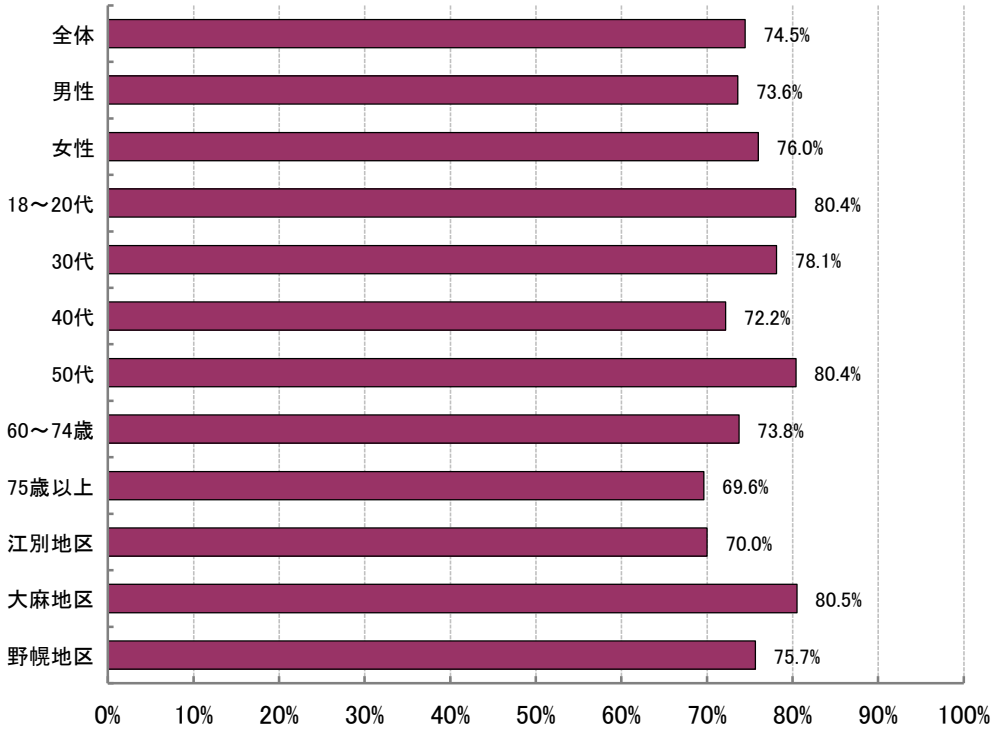


○地区別に見ると、「江別地区」は、他の地区よりも市政運営に満足している市民割合が低くなっています。

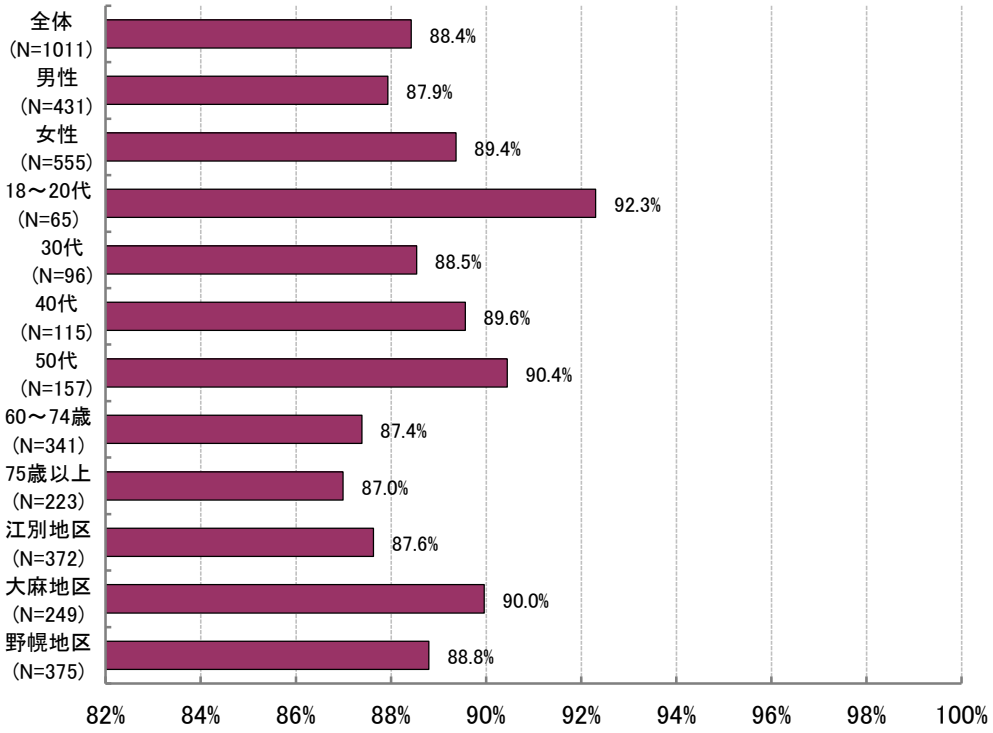
○性別で見ると、「女性」の方が、「男性」よりも市から必要な情報が提供されていると感じる市民割合が高くなっています

○年代別に見ると、「18～20 代」は、市から必要な情報が提供されていると感じる市民割合が最も高くなっています。

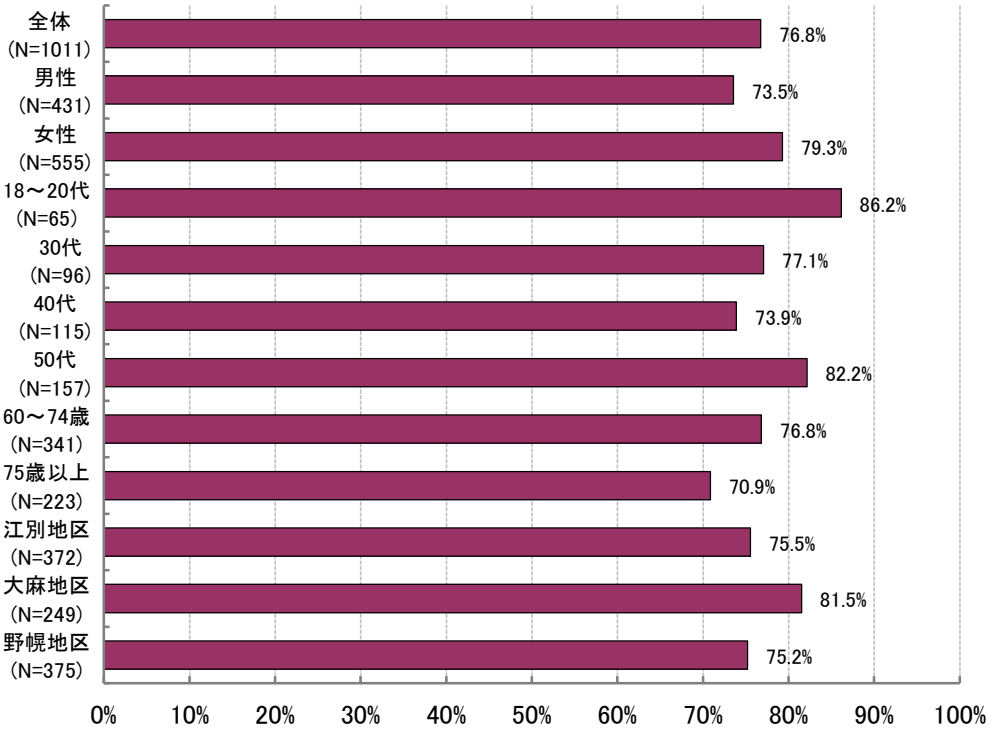
図表Ⅰ－９－② 市政運営に満足している市民割合



図表Ｉ－９－③ 市から必要な情報が提供されていると感じる市民割合



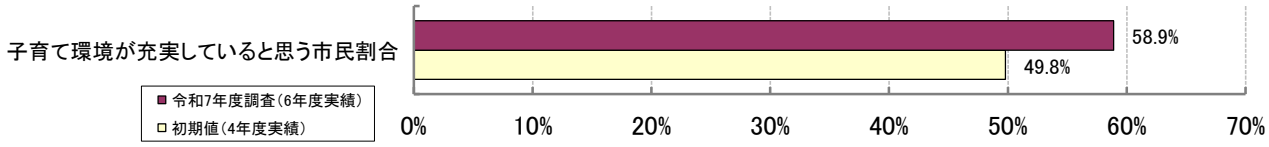
図表Ｉ－９－④ 市に意見を伝える機会・場所が充実していると感じる市民割合



Ⅱ　えべつ未来戦略指標

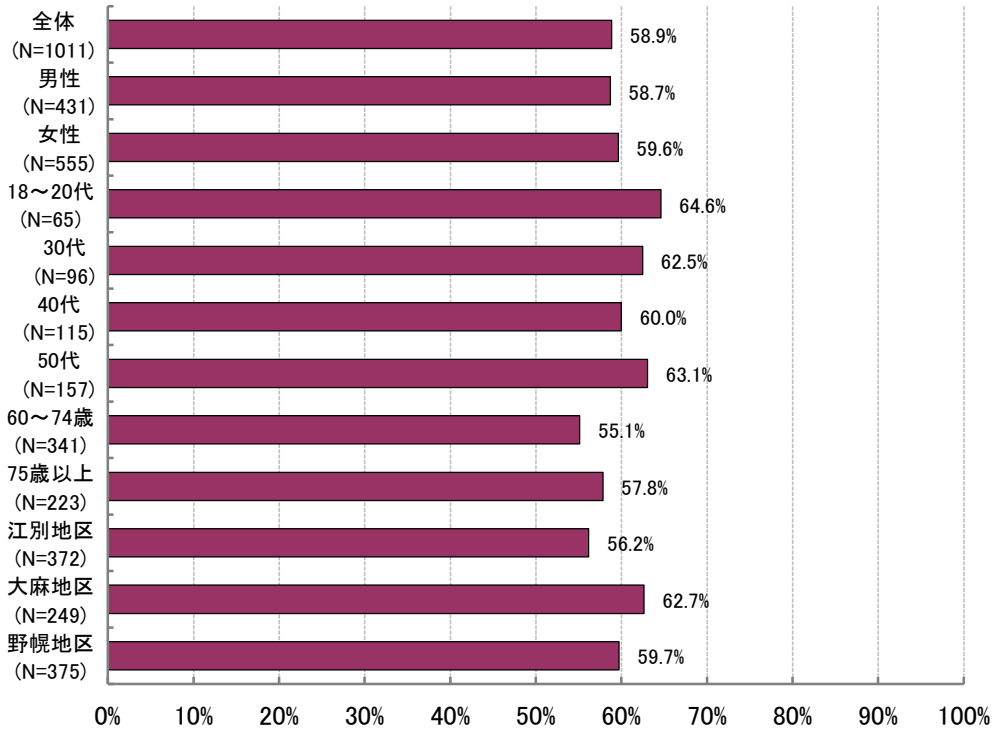
戦略１：子どもが主役のまちをつくる

図表Ⅱ－１－① 各指標



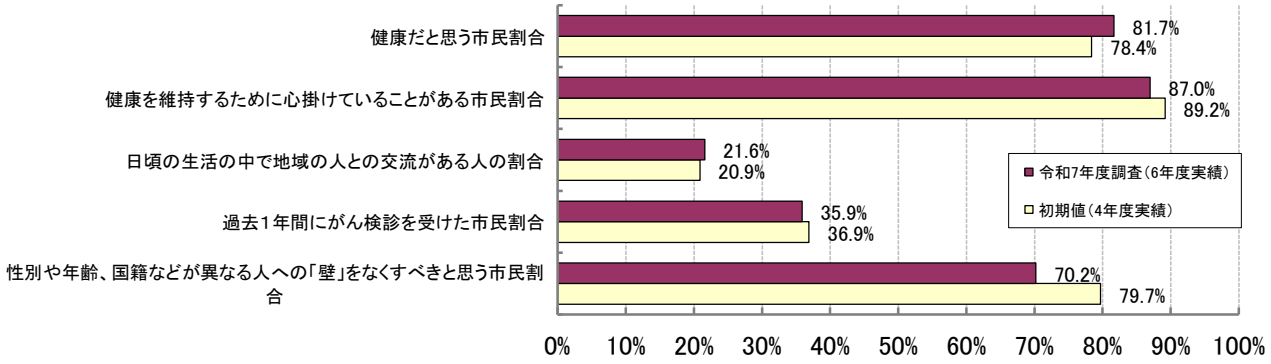
○年代別に見ると、「18～20 代」は、子育て環境が充実していると思う市民割合が、最も高くなっており、「60～74 歳」は、他の年代と比べて低くなっています。
○地区別に見ると、「大麻地区」は、他の地区よりも、子育て環境が充実していると思う市民割合が高くなっています。

図表Ⅱ－１－② 子育て環境が充実していると思う市民割合



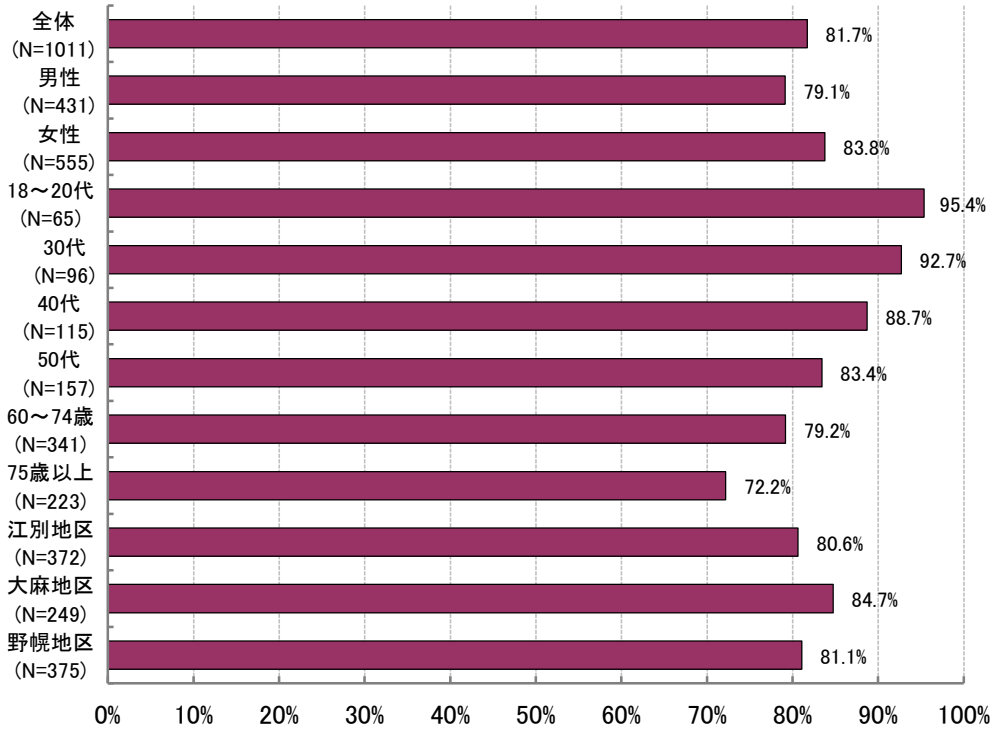
戦略２：幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける

図表Ⅱ－２－① 各指標

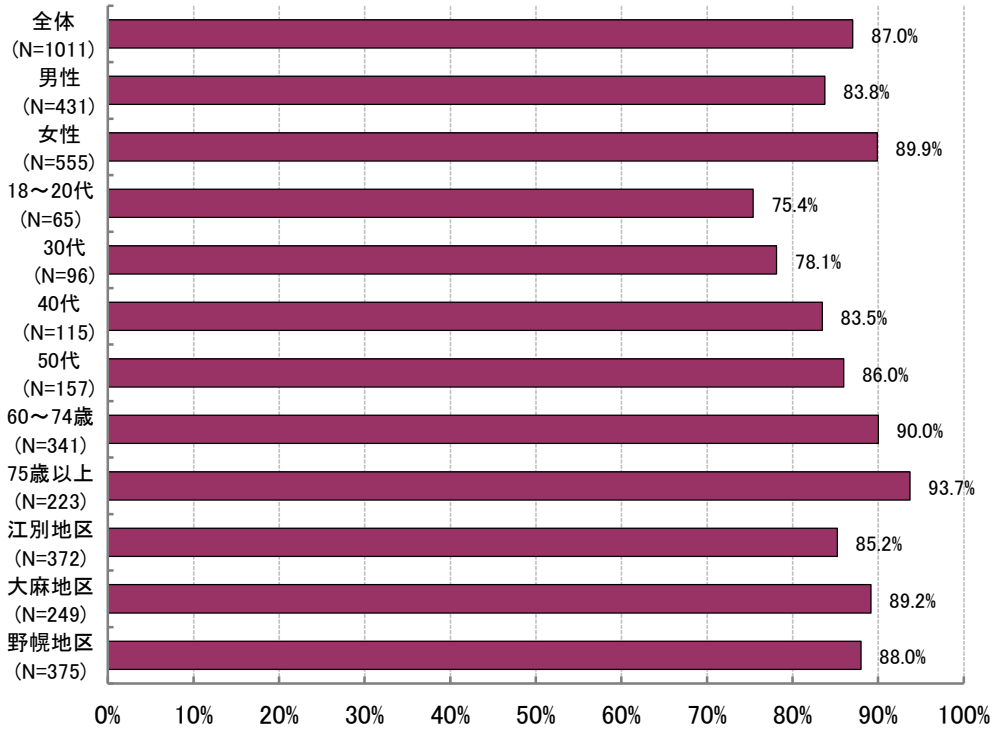


○年代別に見ると、「75 歳以上」は、他の年代と比べて健康だと思う市民割合が低くなっています。
○性別で見ると、「女性」の方が、「男性」よりも健康を維持するために心掛けていることがある市民割合が高くなっています。
○地域の人との交流があると回答した割合は、「75 歳以上」が最も高くなっています。
○性別で見ると、「女性」の方が、「男性」よりも過去１年間にがん検診を受けた市民割合が高くなっています。
○地区別に見ると、「大麻地区」は他の地区よりも、性別や年齢、国籍などが異なる人への「壁」をなくすべきと思う市民割合が高くなっています。

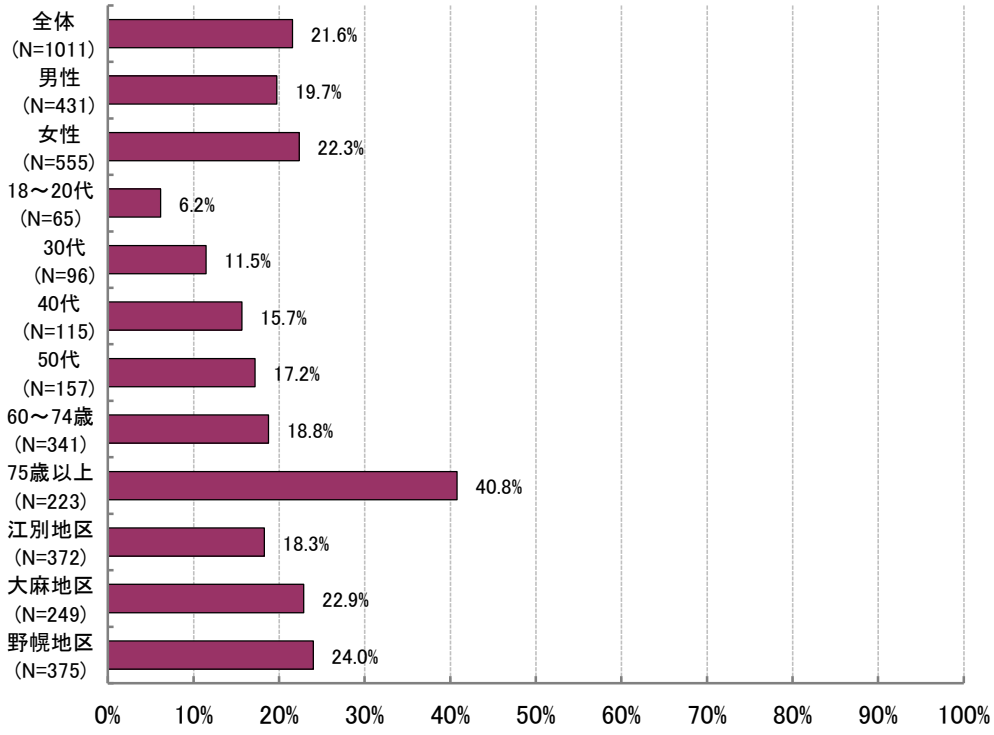
図表Ⅱ－２－② 健康だと思う市民割合



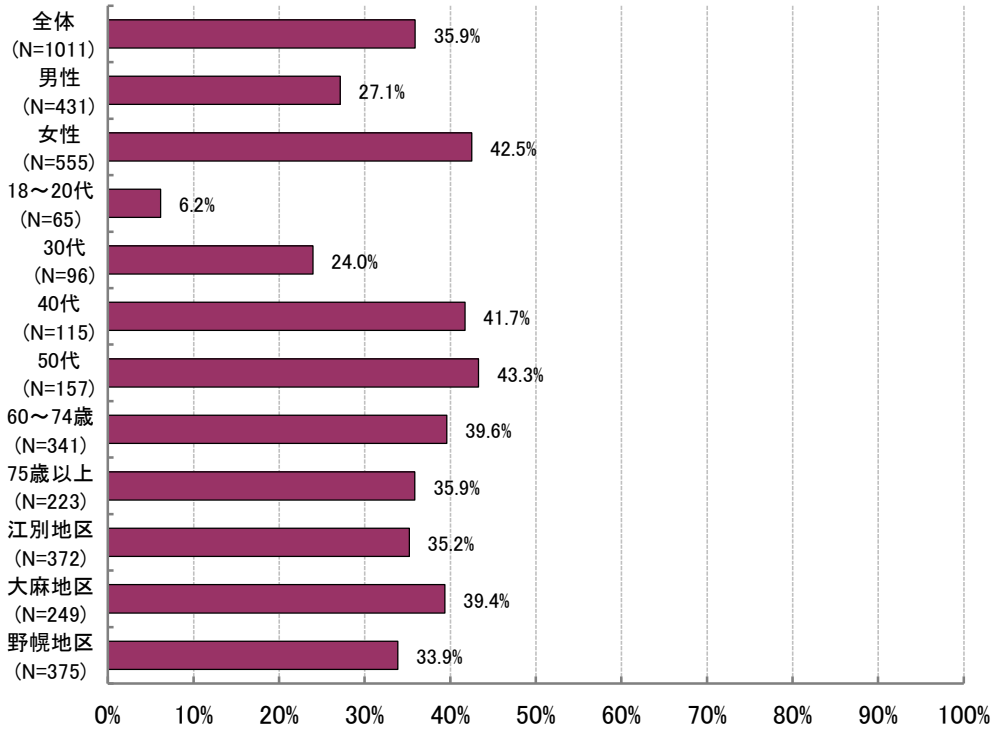
図表Ⅱ－２－③ 健康を維持するために心掛けていることがある市民割合



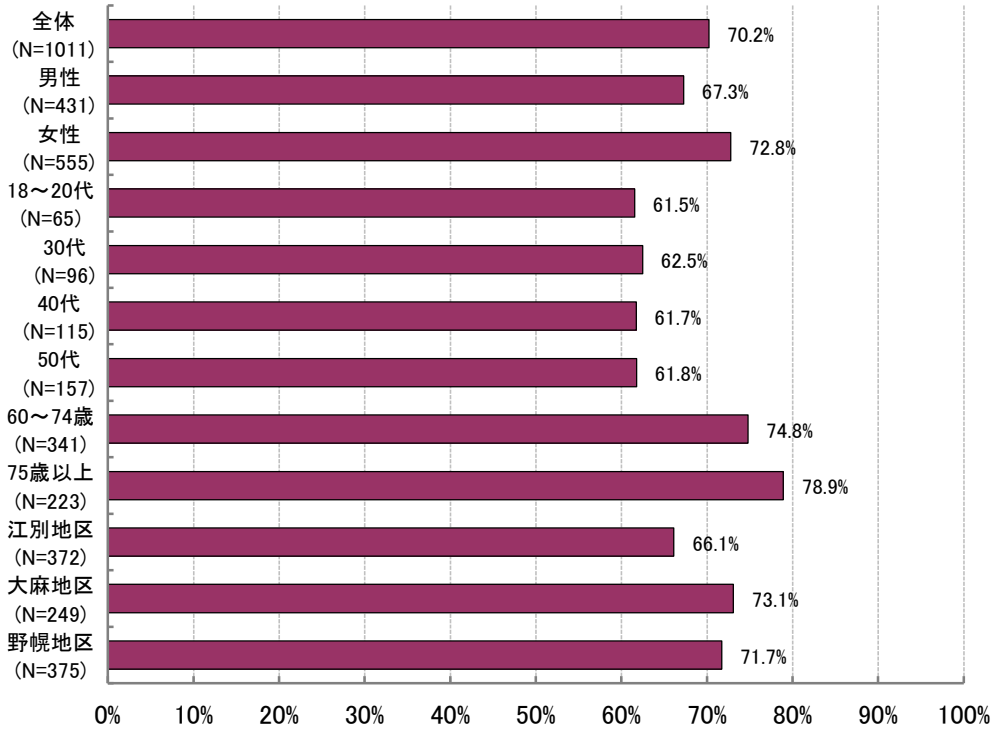
図表Ⅱ－２－④ 日頃の生活の中で地域の人との交流がある人の割合



図表Ⅱ－２－⑤ 過去１年間にがん検診を受けた市民割合

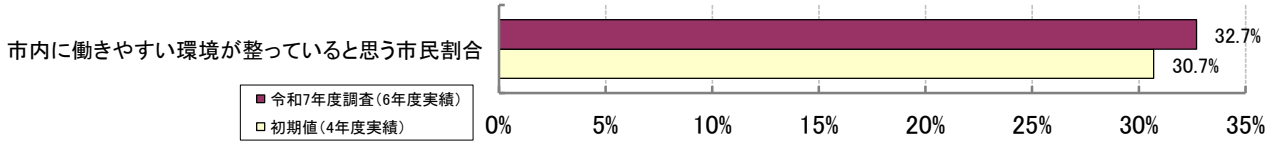


図表Ⅱ－２－⑥ 性別や年齢、国籍などが異なる人への「壁」をなくすべきと思う市民割合



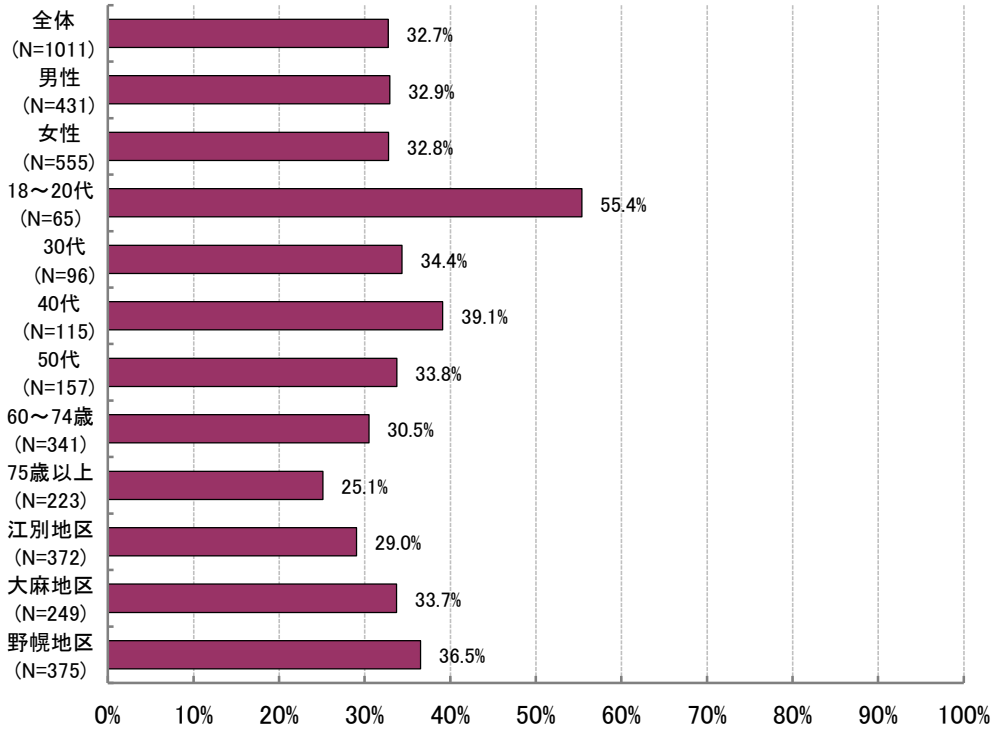
戦略３：みんなの働きがいと、元気な経済をつくる

図表Ⅱ－３－① 各指標



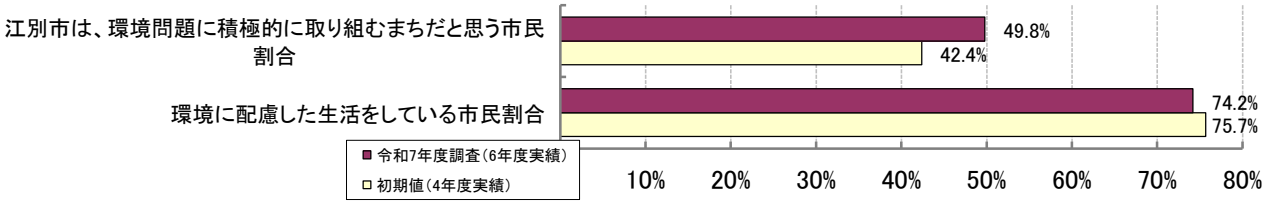
○年代別に見ると、「18～20 代」は、市内に働きやすい環境が整っていると思う市民割合が他の年代と比べて最も高くなっており、「75 歳以上」が最も低くなっています。
○地区別に見ると、「野幌地区」が他の地区よりも市内に働きやすい環境が整っていると感じている市民割合が高くなっています。

図表Ⅱ－３－② 市内に働きやすい環境が整っていると思う市民割合



戦略４：地域から地球温暖化防止に挑む

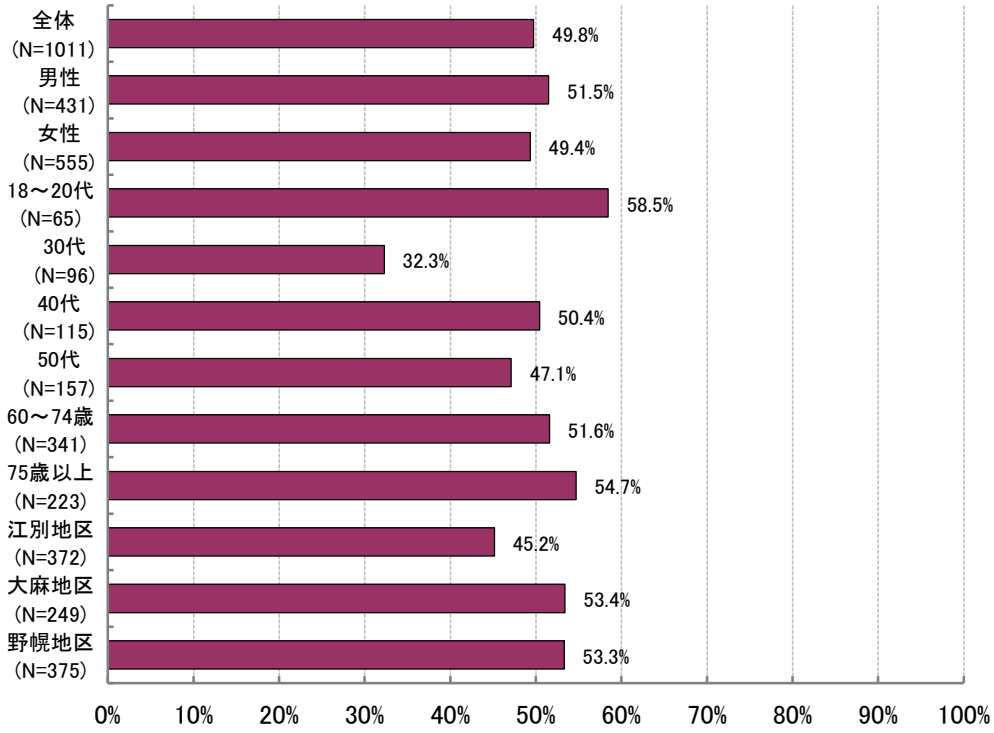
図表Ⅱ－４－① 各指標



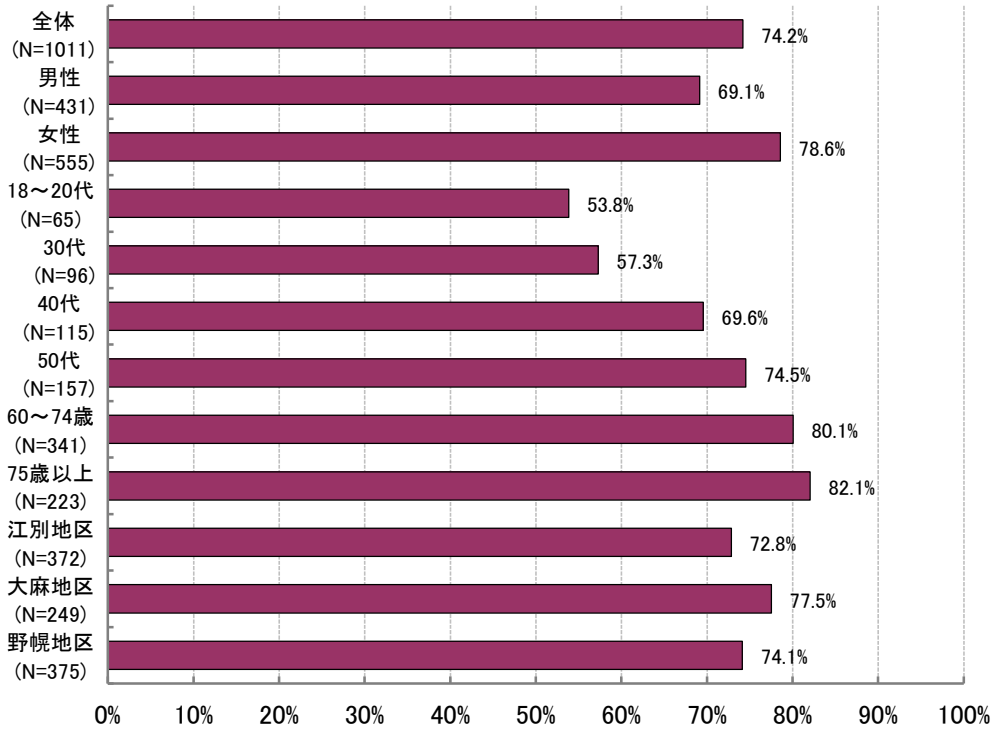
○年代別に見ると、「30 代」は、江別市は、環境問題に積極的に取り組むまちだと思う市民割合が最も低くなっています。

○環境に配慮した生活をしている市民割合は、年代が上がるに連れて割合が上昇し、「75 歳以上」が最も高くなっています。

図表Ⅱ－４－② 江別市は、環境問題に積極的に取り組むまちだと思う市民割合

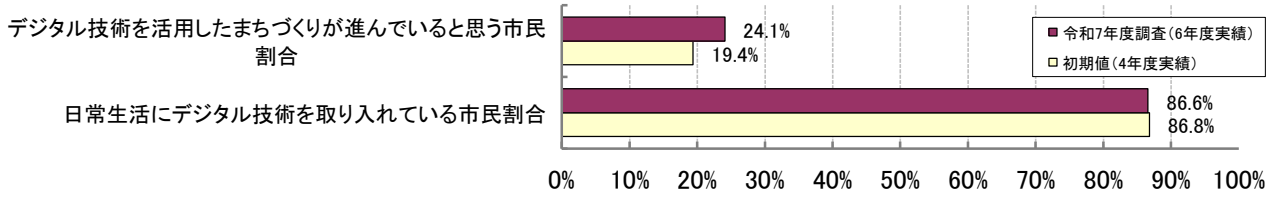


図表Ⅱ－４－③ 環境に配慮した生活をしている市民割合



戦略５：デジタル技術で住みよい明日（あす）を切りひらく

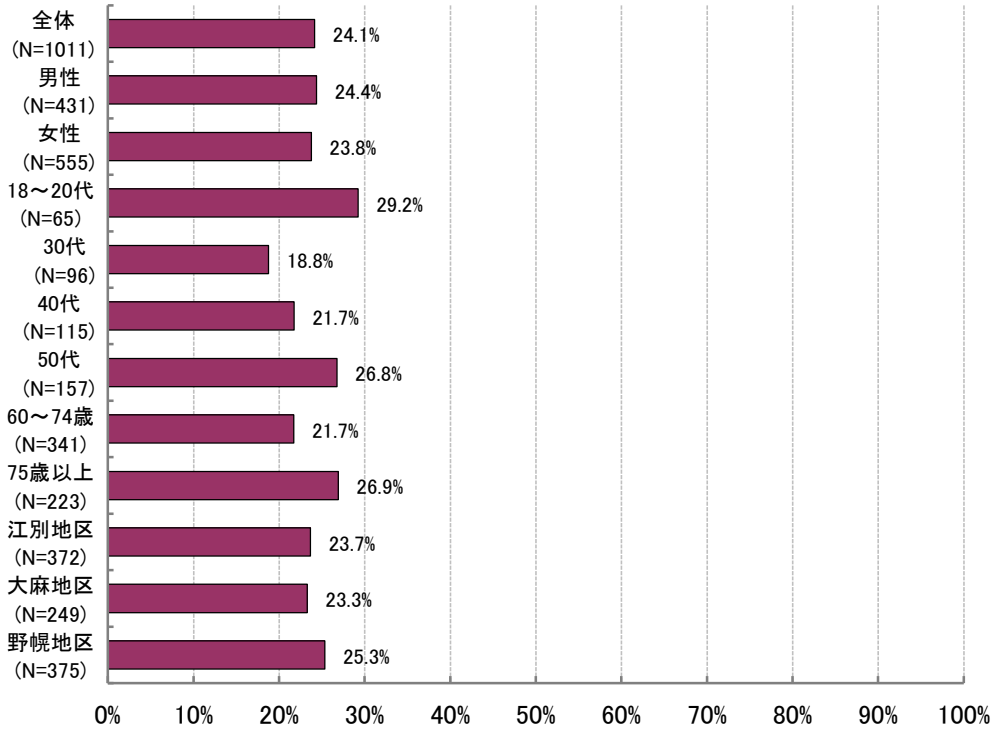
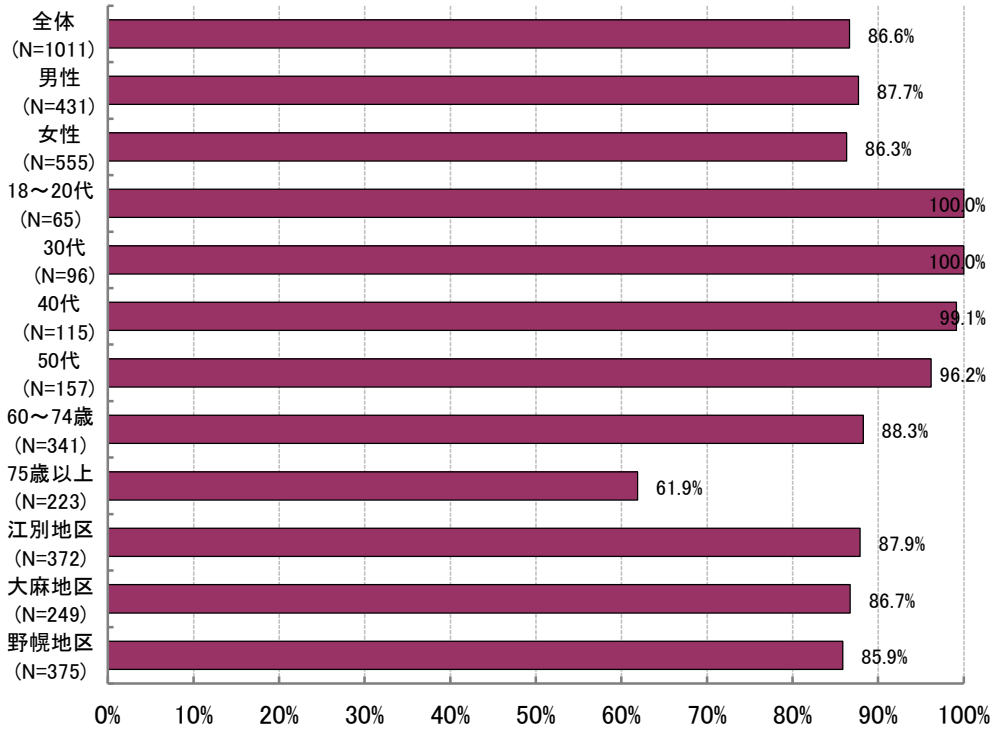
図表Ⅱ－５－① 各指標



○年代別に見ると、「30 代」は、デジタル技術を活用したまちづくりが進んでいると思う市民割合が最も低くなっています。

○年代別に見ると、「75 歳以上」は、日常生活にデジタル技術を取り入れている市民割合が、他の年代と比べて著しく低くなっています。

図表Ⅱ－５－② デジタル技術を活用したまちづくりが進んでいると思う市民割合



図表Ⅱ－５－③ 日常生活にデジタル技術を取り入れている市民割合